

# 10. 熊本県立熊本聾学校

## 主な観点

- 障害の特性に応じた施設整備(聴覚障害)
- 福祉子ども避難所(主に聴覚障害)

## 所在地

熊本県熊本市東区東町3-14-2

## 障害種

聴覚障害

## 児童生徒数

	人
幼稚部	20
小学部	35
中学部	10
高等部	24
計	89



## 施設情報

鉄筋コンクリート造  
3階建て  
延床8,531㎡  
昭和43年

## 背景・沿革

- 明治44年に視覚・聴覚の私立学校として設立、昭和22年に聾学校として分離し、昭和44年に現行の校舎に移転。
- 平成31年1月に、熊本市の福祉子ども避難所(主に聴覚障害)に指定

51

# 10. 熊本県立熊本聾学校

## 配置写真・平面図



### 体育館



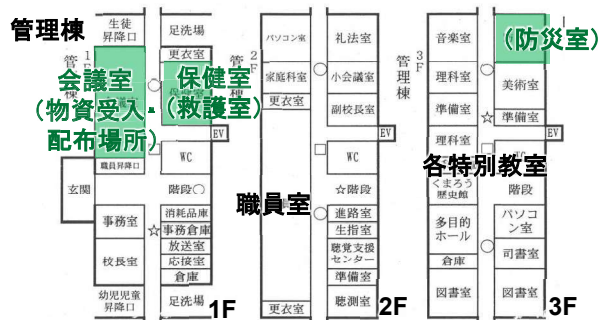
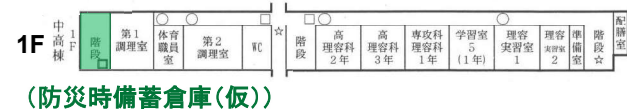
### 幼稚部・小学部棟

2・3F(略)



### 中学部・高等部棟

2・3F(略)



(避難所として利用時に活用)

- 学校再開に向け、避難スペースとそれ以外をすみ分けている。
- 現在の施設には老朽化が進んでいる箇所もあり、更なる機能の充実が求められている。

52

## 10. 熊本県立熊本聾学校

### 必要な整備

- 聴覚障害の特性に応じ、情報保障への配慮や職業教育の実施が必要。

### 実際の整備

- 職業や専門教科について学習するための実習室・特別教室の充実
- 早期から対応を行うため、乳幼児相談室・検査室等の設置
- 情報提供を効果的に行うための、パトライト、LED文字表示システムの整備

### 今後の課題

- 学校としての特性を踏まえた施設整備が必要
  - ・児童生徒に情報を効果的に提供するためのシグナルタワー
  - ・言語聴覚士やカウンセラーが業務をする空間
  - ・特別支援コーディネーターが業務をする空間
- 重複障害児の増加を踏まえた施設整備が必要
  - ・クールダウン専用スペース
  - ・教室の窓やドアガラスの安全性確保
- 熊本地震を踏まえた福祉避難所の開設に備えて施設整備が必要
  - ・緊急時用物資の保管スペース
  - ・大容量の給電装置、自家発電、蓄電設備
  - ・体育館(避難場所)での冷暖房・換気設備
  - ・駐車スペース(効果的な駐車計画)

53

## 10. 熊本県立熊本聾学校



理容実習室



聴力検査室(幼稚部用室)



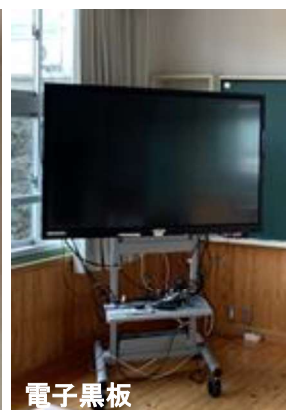
乳幼児相談室



LED文字表示システム



パトライト



電子黒板

54

# 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校

## 主な観点

- 障害の特性に応じた施設整備(知的障害)
- 福祉子ども避難所(主に知的障害)
- 平成28年の熊本地震後に整備された学校であり、熊本地震を踏まえた施設整備を実施

## 所在地

熊本県熊本市東区東町3-14-3

## 障害種

知的障害

## 児童生徒数

	学級	人
1年	9	71
2年	8	61
3年	9	70
計	26	202



## 施設情報

鉄筋コンクリート造  
4階建て  
延床8,694㎡  
令和元年

## 福祉避難所の視点

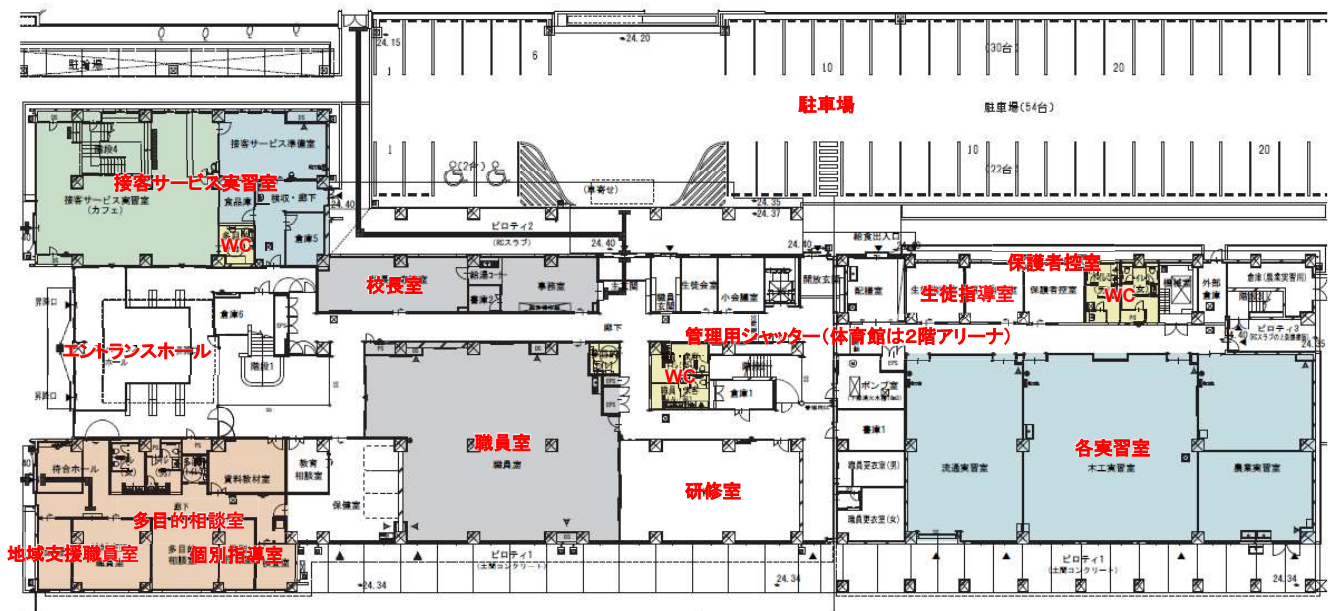
- 平成28年の熊本地震を踏まえ、耐震性能の割増し、太陽光発電及び非常用電源の設置、雨水タンクの設置、避難場所との間仕切りを整備。

55

# 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校

## 平面図(1階)

- 平日夜間・休日に体育館の解放を行っており、体育館以外への侵入を防ぐ管理用シャッターにより動線を分離するとともに、安全管理を実施
- 地域との連携の観点から接客サービス実習室、図書館、カフェ等の解放を想定した動線計画





## 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校

### 必要な整備

- 知的障害の特性に応じ特に社会参加を見据えた生徒の教育ニーズに対応するための整備が必要。
- 地域連携・特別支援教育のセンター的機能の充実のための施設整備が必要。
- 熊本地震を踏まえた施設整備が必要。

### 実際の整備

- 職業や専門教科を学ぶための実習室・特別教室の充実
- 地域開放を行うための接客サービス実習室、図書室等の整備や動線計画、平日夜間・休日の体育館解放時の管理用シャッターの設置
- バリアフリー化の徹底のほか、安全性確保のため、破損防止用の強化ガラスや転落防止用の解放制限装置、木製格子の設置
- 特別支援教育のセンター的機能として、合理的配慮協力員や相談者のための面談室等の設置
- 平成28年の熊本地震を踏まえ、耐震性能の割増し、太陽光発電及び非常用電源等の設置

### 今後の課題

- 福祉避難所の開設に備え、機能充実のために下記の施設整備が必要。
  - ・感染症対策、医療的ケアの提供、クールダウンスペース等、様々な配慮が必要な避難者のための避難スペース
  - ・物品の保管、駐車のためのスペース
  - ・マンホールトイレ

57

## 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校



58

## 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校



体育館解放時の管理用シャッター(解放時)



体育館解放時の管理用シャッター(閉鎖時)



体育館入口に設置された多目的トイレとシャワー室



多目的トイレ(内部)

59

## 11. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校



窓からの転落防止のための解放制限装置



窓からの転落防止のための木製格子



相談や個別学習、クールダウンスペースとして活用される相談室



災害に備えた屋上の太陽光発電設備

60